国家専利導航総合サービスプラットフォームのオンライン運用が正式に開始

2023 年 2 月 17 日
JETRO 香港事務所

2023 年 2 月 15 日、国家知識産権局（CNIPA）による指導の下、中国専利保護協会が主催する発足会議（北京で開催）において、国家専利導航総合サービスプラットフォーム（国家专利导航综合服务平台）のオンライン運用開始が正式に発表された。

国家専利導航総合サービスプラットフォーム（国家专利导航综合服务平台[1]）の画面例



本プラットフォームについては、以前から CNIPA が中国専利保護協会による構築を承認済みである旨発表されていた[2,3,4]。

当該プラットフォームの目的は、「**『第 14 次 5 か年計画』国家知的財産権保護およ**

1 https://www.patentnavi.org.cn/home
2 JETRO レポート「CNIPA、中国専利保護協会の国家専利導航総合サービスプラットフォーム建設を承認（2022 年 11 月）」https://www.jetro.go.jp/ext_images/world/asia/cn/ip/pdf/report_20221124.pdf
3 ［原文］http://www.ppac.org.cn/news/detail-4-450.html
4 ［原文］http://www.ppac.org.cn/news/detail-2-435.html
※2022 年 11 月 18 日付けの中国専利保護協会の発表では 12 月上旬に開始予定とされていた。

び運用計画」（“十四五”国家知识产权保护和运用规划[5]）（国務院 2021 年 10 月）（以下「知財十四五」）の展開等に基づき、専利導航プロジェクトの実施を推進し、専利導航の作業メカニズムを改善して産業の革新と発展を支援することにある。

上記会議での紹介によれば、当該プラットフォームは、以下の 3 つの基本的な機能を備えている。

① 各レベルの政府部門による国家専利導航業務のプロセスコントロールとパフォーマンス評価の実施を支援し、「知財十四五」で示された専利導航プロジェクトが高品質かつ高効率で実施されることを支援する。

② プラットフォームは、産業別の専利導航サービスの需要と供給を一致させる橋渡しをするものであり、産業の意思決定、技術の研究開発、企業運営等の様々なニーズに応え、中国の産業発展の質と効率の向上に寄与する。

③ プラットフォームは、国家専利導航が持つ優位な技術と専門的な強みを統合させ、専利導航の新ツール・シナリオの研究開発を強化し、専利導航サービスの供給側の質と効率の向上に役立つ。

また、上記会議では、CNIPA 副局長である卢鹏起氏により当該プラットフォームの次のステップとして次の 3 点が強調された。

① プラットフォーム機能のラストワンマイルをできるだけ早く開放する。

② 専利導航業務の国家戦略の強化に注力する。

③ 知的財産権運用の良好なネットワーク構築を支援する。

本プラットフォームでは、５G や AI、半導体集積回路等の特定分野を対象としたデジタル専利導航サービスプラットフォーム、デジタル専利導航ツール製品、専利導航クラウド教室、専利導航サービス基地、国家級専利導航プロジェクト支援サービス機関[6]等のページが設けられている。

（以上）

---

[5] ［原文］http://www.gov.cn/zhengce/content/2021-10/28/content_5647274.htm
※「専利導航プロジェクト」と題するコラムにおいて、「専利導航のデータ製品、分析ツールおよび応用プラットフォーム開発を組織する」ことが記載されている。

[6] JETRO レポート「CNIPA、国家レベルの専利導航プロジェクト支援サービス機関（第 1 陣）を発表（2022 年 9 月）」https://www.jetro.go.jp/ext_library/1/world/asia/cn/ip/pdf/report_20220926.pdf